

プロジェクト報告書

団体名 特定非営利活動法人 ウイズアイ

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

親子の絆・家族の絆・地域の絆づくりプロジェクト～高齢者との出会い&人権の尊重を学ぶ講座～

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

高齢者が、乳幼児と触れ合うことで得られるもの、また、若い世代が高齢者と過ごすことで学ぶことはたくさんあります。核家族で育った世代が核家族で子育てをしています。遊びも料理も昔ながらのものを伝える場がありません。今、高齢者の方から伝えていただかないと断ち切られるのではないかと危機を感じます。子育てだけではなく高齢者も社会で支えていく時代。共に会おう事で、地域のネットワークが強化され、生きるということ、家族の絆などを改めて考えるキッカケになると思います。自分と相手の人権を尊重したコミュニケーション技法を学び、親子・夫婦・ママ友・職場・近隣の方々と人間関係に悩むことが少なくなり、生きやすくなると考えます。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

・高齢者を支えるゆるやかなつながり作り(子育てママとの作品作り):対象:高齢者と乳幼児を育てている親
場所:特別養護老人ホーム「信愛の園」参加費:無料 日時:7/1(月)・12/2(月)・2/3(月) 15時～16時半
内容:季節の作品作り(高齢者の方が講師役&保育士役・保育スタッフ2名見守りに入る)
・アサーティブを学ぶ講座の開催・保育付き4回連続講座(2クール) 場所:清瀬市コミュニティプラザ・ひまわり
講師:特定非営利活動法人アサーティブジャパン トレーナー 寺地典子氏 定員:15名 時間:9時45分～12時15分
参加費:500円(毎回)保育料(500円:会員は300円) 1回:6/19(水)1/9(木)「自分のコミュニケーションを振り返ろう」
2回:6/26(水)1/16(木)「困っていることを頼んでみよう」 3回:7/3(水)1/23(木)「気持ちを伝える/NOと断ってみよう」 4回:7/17(水)1/30(木)「自分自身を大切にしよう」

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

高齢者と子育て世代の交流・子どもは、相手をしやすい2歳～5歳とし、参加しやすいように無料で取り組みました。毎回、子ども達に、駒や風車など高齢者の方々と一緒に遊び楽しめるものを提供しました。ママ達は、高齢者の方々に毎回可愛い小物の作り方を教えていただき、作品作りをしながら交流が出来、交流しやすく、リフレッシュも出来、好評でした。アサーティブを学ぶ講座は、定員30名としていましたが定員を15名とし、少人数で2クール、保育付連続講座としたので、ママ同士の新たな仲間作りにもなりました。パートナーや姑、ママ友などの関係の中で悩んでいることを出し合い、解決に向けてロールプレイで練習しました。アサーティブの相手も自分も尊重するという考えや、権利を学ぶことで、子どもの人権を考えさせられ虐待予防にもつながったようです。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

高齢者と子育て世代の交流事業は、参加者が固定化したことで、子ども達も慣れ一年を通じて成長がみられました。高齢者の方々も子ども達の良い遊び相手になって下さり、異年代の三者がそれぞれの立場で楽しみ、またなかなか接し合い合うことが少ない層が出会えた貴重な時間だったと思います。これからも継続して取り組んでいきたいです。アサーティブの講座は、自分の時間も確保が難しい中で、じっくりと自分自身と向き合う時間となりました。子どもが生まれて、家族が増え、パートナーと共により良い関係を築き、一緒に子育てしていくためにも、気持ちを伝えるコミュニケーション力は必須。参加者の行動変容に講座の手ごたえを感じました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

親子の絆・家族の絆・地域の絆づくりプロジェクト～高齢者との出会い&人権の尊重を学ぶ講座～

高齢者を支えるゆるやかなつながり作り

12月2日実施



アサーティブの講座 26年1月実施

